

は ち ろ う が た

八郎潟

広報

平成20年

3月

No.573



33歳の皆さん



42歳の皆さん



60歳の皆さん（一日市地区）



60歳の皆さん（面潟地区）

平成20年合同厄祓・還暦祝 ～節目の年を迎えて～

2月1日、町農村環境改善センターを会場に平成20年合同厄祓・還暦祝がしめやかに行われ、数え年の33歳の女性（43名）、42歳の男性（27名）、60歳の男女（103名）、合わせて173名の皆さんが参加しました。

東北ふるさとCMフェスティバル2008

～ 本町応援団が応援グッズでにぎやかにPR ～

2月7日、仙台国際ホテル（仙台市）において東北ふるさとCMフェスティバル2008が開催され、東北6県からエントリーされたCM制作関係者及び一般参加者約150名で行われました。

今回のフェスティバルは、東北各県から「最優秀賞作品」「おもしろ作品」「ほのぼの作品」の3部門に、各県から1部門1作品ずつ出品され、本町の作品は、県代表として東北ふるさとフェスティバル大賞部門（各県の最優秀賞を獲得した作品）にエントリーしました。

タレントの草野 仁さんと東日本放送アナウンサーの岩田有未さんの司会によりスムーズに進められ、本町の紹介を、秋田朝日放送アナウンサーの塩地美澄さんが担当、町からも19名の応援団が駆けつけ、半纏を着用し、応援グッズで会場を大いに盛り上げ、町のPRを行いました。

また、県内からはおもしろ大賞部門に横手市、ほのぼのの大賞部門に八峰町の作品が出品されました。



応援グッズ▶



◀ 定九郎と与一兵衛を組立中
会場に登場!!



▲草野仁さんと本町応援団



▲塩地アナと本町の美女応援団



▲会場審査員の皆さん

「東北ふるさとフェスティバル大賞」部門

市町村名

1. 福島県鏡石町
2. 山形県山形市
3. 宮城県本吉町
4. 岩手県住田町
5. 秋田県八郎潟町
6. 青森県黒石市

タイトル

- WALKIN' & CLEAN 環境特別賞
- ロマンティック山形市
- 元気出さいん
- あなたのふるさと 見つけませんか!
- 人に願いを
- 黒石を味わう～焼きそば編～ 最優秀賞

会場審査員

(敬称略)

- ❖ 田中 里沙 (宣伝会議編集室長)
- ❖ 田浦 芳孝 (東日本旅客鉄道(株)取締役仙台支社長)
- ❖ マエキタミヤコ (コピーライター)
- ❖ 佐伯 一麦 (作家)
- ❖ アン・マクドナルド (宮城大学国際センター准教授)

文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業

～観客の皆さんと
一体のステージ～



総括 民謡とフォルクローレコンサート

2月10日、町農村環境改善センターにおいて文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業が3部構成で行われ、約400人が集まり盛大に開催されました。

この事業は、県内外から文化、芸術に携わるリーダーを招いて「町を元気にする伝統芸術」をテーマに、各地の文化芸術の共通点や町おこしの活用例を紹介しながら、町を元気にするために伝統芸能が果たす役割を検討するものです。

第1部では、シンポジウム「まちを元気にする伝統芸術について考えよう」をテーマに、音楽評論家の佐藤克明さんが問題提起を行い、コーディネーターをエッセイストのあゆかわのぼるさん、シンポジストを佐藤克明さん、四方山会会長 河合克行さん、一日市郷土芸術研究会会長 畠山美喜雄さん、異業種交流会クライム副会長 児玉 亮さんが務め、郷土芸能に関することについてなど活発な意見が出されました。

第2部では、小学生有志による子供願人踊、秋田音頭、中学生有志による三味線、尺八演奏が行われ、1年間の練習の成果を披露しました。

民謡コンサートでは、民謡歌手の福本恵美さんが高翔会の演奏ですばらしい歌声を披露しました。また、特別出演の山形民俗文化サークル四方山会の花笠踊り、阿波踊りも披露され会場は大盛況となりました。

第3部のフォルクローレコンサートはお馴染みのベル・ヴィエントスによる演奏が行われ、会場に訪れた皆さんは南米の音楽に親しんでおりました。



▶ 子供願人踊は息もピッタリ



▲ 民謡歌手 福本恵美さんと高翔会の皆さん



▲ 四方山会（山形市）の花笠踊り



平成19年度 町民座談会

～活発な意見が
出されました～



1月27日、町農村環境改善センターにおいて町民座談会が開催され、約70人が参加しました。
今年度は、会場1箇所での開催とし、座談会の内容を見直し意見交換の時間を多く取りました。
はじめに、八郎湖周辺清掃事務組合次長 小野 将さんより、「ごみ処理施設の仕組み及び新しい分別方法について」の説明、続いて、役場総務課税務班長より「平成20年確定申告について」の説明が行われました。
座談会では、はじめに土橋町長あい

さつ、岡副町長の司会のもと各課長より事業状況について説明を行いました。
意見交換では、集まられた皆さんから、実質公債費比率、墓地公園、包括支援センター、バイオエタノール、企業誘致、一日市盆踊り保存会、議員報酬、平日の投票日、自殺予防、ごみ処理施設、指定湖沼などについて多数の意見が出されました。
出された意見については、今後の参考にしてまいります。



第7回 ボランティア大会



2月3日、町農村環境改善センターで第7回八郎潟町ボランティア大会が開催され約100名の方が参加しました。

町社会福祉協議会会長の土橋多喜夫氏のあいさつの後、小学1年生の高橋祥さん、小学6年生の鎌田結亜さん、菅原華帆さん、中学2年生の金 征生さん、渡部草河さん、畑澤悠紀子さん、濱野夏実さんが体験発表を行いました。

続いて講演では、藤里町の月宗寺住職で、心といのちを考える会会長の袴田俊英さんが「しあわせについて」と題しお話しされ、人とのつながりが大切で、いまは生活は幸せだが悲しさ苦

～一人ひとり拓く、
ボランティアの輪～

しさを知らなくなってきたりいるなど、現在の状況を話されました。

続いて、このたびはじめて行われた紙芝居では、畠山金美さんと松橋喜美男さんがユーモラスな語りで「かちかち山」を演じ、会場は笑いにつつまれました。

おしゃべりタイムでは、テーブル毎にお茶菓子を食べながら、ボランティアについてなど普段思っていることについて活発な意見交換が行われました。

最後に、参加者全員で「そこにはしあわせがもう生まれているから」を歌い、このたびの大会の成功に拍手がこりました。

平成20年 合同厄祓・還暦祝

～しめやかに行われました～



2月1日、町農村環境改善センターを会場に平成20年合同厄祓・還暦祝がしめやかに行われ、数え年の33歳の女性（43名）、42歳の男性（27名）、61歳の男女（103名）、合わせて173名の皆さんが参加しました。

修祓（しゅうばつ）の儀、降神（こうしん）の儀、献饌（けんせん）の儀、祝詞奏上（のりとそうじょう）の後、玉串奉奠では33歳代表の千田絢子さん、42歳代表の小柳洋樹さん、

61歳代表の草階トヨ子さんが神前に玉串を捧げました。
神事が無事に終了した後、主催者の北嶋公民館長からあいさつ、来賓として土橋町長よりあいさつ、小柳議会議長より詩吟が披露されました。

これに対し、実行委員会代表の村井剛さんから謝辞が述べられました。
出席者の皆さんは、一段と気持ちを引き締めておりました。



八郎滬幼稚園で鬼退治



2月1日、八郎滬幼稚園では、2日早く節分の豆まきが行われました。

園児たちは先生らによる「桃太郎」の劇を見た後、先生たちが「泣き虫鬼」や「おこりんぼ鬼」といった心の中にいるという鬼に扮して現れ、自分の退治したい鬼に向かって「鬼は外！福は内！」と豆を投げつけ、自分の心の中にいる鬼を退治していました。



ニユースポーツ

「デイスコン」講習会

くどなたでも簡単に楽しめます



2月3日、八郎滬町町民体育館で町教育委員会・町体育指導委員会主催によるニユースポーツ「デイスコン」の講習会が開催されました。



デイスコンの名前の由来は、デイスク（円盤）と、コントロールを合成したものです。ルールはいたって簡単で、赤と青の2チームに分かれて、1チーム6枚の円盤を投げ、どちらがポイントに近づいているかを競う簡単なスポーツです。初めての方でもベテランと対等に競技を楽しむことができます。

オリピック記念会館で用具の貸し出しをしておりますので、お気軽にご活用ください。

お問い合わせ先
オリピック記念会館
☎875-5500

秋田県地域海洋センター連絡協議会

フロアリズム運動プログラム一日体験会



2月5日、町農村環境改善センターで行われた秋田県地域海洋センター連絡協議会の中で、保育園児を対象としたフロアリズム運動プログラムに八郎滬保育園の園児

が参加しました。このフロアリズム運動プログラムは、幼児期に必要な運動を通して健康なからだづくりや、社会性を養うことを目的としたプログラムで、園児たちは、リズム運動や柔軟運動、マット運動やリレーなど、友だちと協力しながら、様々な運動に元気いっぱい取り組んでいました。



五城目警察署・湖東地区消防本部合同

ワカサギ釣り客救出想定訓練

く本番さながら八郎湖水上にて



2月19日、八郎滬町釣り公園付近の八郎湖水上において五城目警察署・湖東地区消防本部合同のわかさぎ釣り客救出訓練が行われました。

この訓練は、このたび初めて行われ警察署と消防本部との連携を中心としたものとなりました。

わかさぎ釣りが客が氷の割れ目に落ち救助の依頼があったとの想定で行われ、釣り客役は湖東地区消防署員が務めました。

今回の反省点を改善し今後の活動に生かしてもらいたいと思います。これからは、暖かくなり八郎湖の水も解けることから、わかさぎ釣りをされる方はくれぐれも注意してください。

高翔会会主 高橋雄一さん

中学校へ三味線のバチ6丁を寄贈

八郎滬中学校の週1回の選択授業で三味線の指導を受けておりますが、このたび三味線の指導をされている高翔会会主 高橋雄一さん（秋田市）から三味線のバチ6丁を寄贈いただきました。

既製品のバチは中学生には大きいとのことでもに合わせたバチを製作していただきました。

現在、三味線を選択している生徒は6人です。

2月10日に町農村環境改善センターで開催された文化庁事業「民謡とフォルクローレコンサート」では、生徒たちは高橋雄一さんと合同演奏を行い、見事な演奏を披露しました。今後とも、ご指導よろしく願います。



第8回全日本中学生バドミントン選手権大会



▲村井さん、甲谷さん、濱野さん（左から）

甲谷 望さん
村井拓朗さん 県代表に選出
濱野夏実さん

3月28日から30日の3日間、福岡市民体育館（福岡県）を主会場に行われる第8回全日本中学生バドミントン選手権大会に八中バドミントン同好会から、男子の部に、甲谷望さん（2年）、村井拓朗さん（2年）、女子の部に、濱野夏実さん（2年）の3人が秋田県選抜に選出され出場することになりました。
選手の皆さん、秋田県代表として全力でがんばってください。

バドミントン教室

北都銀行バドミントン部が指導



2月17日、八郎潟中学校体育館において町バドミントン協会主催によるバドミントン教室が開催され約50名が参加しました。

当日は、北都銀行バドミントン部の4名が参加し、バドミントンスポ少、中学校のバドミントン同好会の皆さんへ基本的な指導が行われました。

このたびの指導で、バドミントンに親しむことができ、大変有意義な教室となりました。

第15回潟上市・南秋田郡ミニバスケットボール新人大会



▲優勝したスポ少男子の皆さん

八郎潟スポーツ少年団
男子 優勝
女子 準優勝



1月26日、27日の2日間、潟上市天王総合体育館で開催された第15回潟上市・南秋田郡ミニバスケットボール新人大会において、八郎潟スポーツ少年団男子が優勝、女子も準優勝をおさめました。
男子は、予選リーグから順調に勝ち進み、決勝

では大久保スポ少を下し優勝しました。
女子は予選リーグから順調に勝ち進み、決勝で惜しくも追分スポ少に敗退し、準優勝でした。

試合結果

○男子	準決勝 八小スポ少 60対 五城目スポ少 18
	決勝 八小スポ少 47対 大久保スポ少 31
○女子	準決勝 八小スポ少 36対 大久保スポ少 28
	決勝 八小スポ少 22対 追分スポ少 34

平成19年度防火作文・火災予防標語コンクール



▲千種さん、武田さん、金さん、石井さん（左から）

2月19日、湖東地区消防本部において、湖東地区危険物安全協会、湖東地区消防署主催による「第18回防火作文コンクール及び第17回火災予防標語コンクール」の表彰式が開催されました。

これは、火災予防に対する意識の高揚及び啓発の推進を目的として、湖東地区消防署管内の5校の小学校5年生を対象に毎年行われているもので、今年度は、八小から作文部門・標語部門ともに2名が入賞されました。

☆作文部門

・優秀賞

「火事のない町へ」

石井 智子さん

「火は身近で危険なもの」

金 哲史さん

☆標語部門

・優秀作

「ちよつとした ゆだんにひそむ 火のきようふ」

千種伽奈さん

・優良作

「火遊びを しないさせない 強い意志」

武田 航汰さん



平成19年度 八郎潟町スポーツ賞授与式・スポーツ講演会



町体育協会主催による平成19年度八郎潟町スポーツ賞授与式・スポーツ講演会が2月16日、町農村環境改善センターで開催されました。

授与式は、年間を通じて各種スポーツ大会で活躍された方を表彰するもので、今年度は、功労賞1名、栄光賞個人20名、奨励賞10団体と個人41名に表彰状が授与されました。

齊藤体育協会副会長のあいさつ、来賓として土橋町長、小柳議会議長から祝辞があり、これに対し、被表彰者を代表して一関十郎さんが謝辞を述べられました。

続いて、スポーツ講演会では、講師の北都銀行男子バドミントン部監督(秋田わか杉国体成年男子監督)鈴木理之さんが、「バドミントンと私」と題し講演を行い、自身の中学校時代のお話から秋田わか杉国体出場までの苦労話などをされ、後半には北都銀行バドミントン部と本町のバドミントンスポ少との実演など、有意義な講演会となりました。

被表彰者

(敬称略：順不同)

☆功労賞

一関 十郎 (陸上)

☆栄光賞(個人の部)

志田 千陽 (バドミントン)、三戸 英寿 (ソフトテニス)	工藤 平良 (レスリング)、甲谷 光 (バドミントン)
相馬 優紀 (レスリング)、畑澤 咲 (剣道)	小玉 郁 (レスリング)、伊藤 優 (弓道)
北嶋 玲奈 (レスリング)、小玉 智也 (弓道)	土橋 雄太 (レスリング)、土橋 礼美 (ソフトテニス)
森川 哲平 (レスリング)、小野 成法 (レスリング)	土橋 奏珠 (レスリング)、齊藤 信之介 (レスリング)
千田 悠輝 (レスリング)、田村 勝人 (ラグビー)	松田 健悟 (レスリング)、伊藤 竜太 (山岳)

☆奨励賞(団体の部)

●野球スポーツ少年団

部長 小柳 洋樹	監督 藤井 栄
選手 櫻田 浩平、青山 潤、横山 大貴	選手 山本 佑亮
甲谷 亮、北嶋 大輝、加藤 謙	選手 山本 祐太
青山 祥、北嶋 武徳、渡部 幸	選手 山本 恵太
齊藤 拓弥、瓜林 康真、山内 大夢	選手 山本 夢
嶋崎 大地、小林 航汰、山内 大夢	選手 山本 夢
安田 諒祐、武田 孝祐、山内 大夢	選手 山本 夢
金 哲史、北嶋 千田 航平	選手 山本 夢
小林 新丈、千田 航平	選手 山本 夢

●ソフトボールスポーツ少年団

監督 小野 廣	選手 菅原 由佳、川口 景子
北嶋 悠奈	選手 菅原 由佳、川口 景子
工藤 杏佳	選手 菅原 由佳、川口 景子
甲谷 優希	選手 菅原 由佳、川口 景子
藤井 陽奈	選手 菅原 由佳、川口 景子
渡部 祥帆	選手 菅原 由佳、川口 景子

●八郎潟中学校男子ソフトテニス部

監督 相馬 仁	選手 鎌田 光成、土橋 直喜
村井 和紀	選手 鎌田 光成、土橋 直喜
櫻庭 海人	選手 鎌田 光成、土橋 直喜
齊藤 達也	選手 鎌田 光成、土橋 直喜
土橋 裕平	選手 鎌田 光成、土橋 直喜

●八郎潟中学校女子ソフトテニス部

監督 齊藤 洋貴	選手 加藤 美咲、藤井 晴香
相馬 夏実	選手 加藤 美咲、藤井 晴香
工藤 葵	選手 加藤 美咲、藤井 晴香
加藤 真子	選手 加藤 美咲、藤井 晴香

●八郎潟中学校女子バスケットボール部

監督 江島 廣	選手 齊藤 美奈、長谷川 沙紀
伊藤 晴香	選手 齊藤 美奈、長谷川 沙紀
伊藤 美咲	選手 齊藤 美奈、長谷川 沙紀
藤原 和子	選手 齊藤 美奈、長谷川 沙紀
千田 飛鳥	選手 齊藤 美奈、長谷川 沙紀
齊藤 杏奈	選手 齊藤 美奈、長谷川 沙紀

☆奨励賞(団体の部)

●八郎潟中学校女子バドミントン同好会

監督 佐々木 紀子	選手 相馬 綾香、菊地 愛惟、小野 有紀
濱野 夏実、志田 裕喜子、齊藤 静香	選手 濱野 夏実、志田 裕喜子、齊藤 静香
小玉 萌、伊藤 愛里沙	選手 濱野 夏実、志田 裕喜子、齊藤 静香

●町剣道協会

監督 伊藤 善尚	選手 佐藤 直俊、土橋 研、佐藤 守
選手 伊藤 善尚、佐藤 直俊、土橋 研、佐藤 守	選手 伊藤 善尚、佐藤 直俊、土橋 研、佐藤 守

●八郎潟セイルズ 軟式野球

部長 佐藤 孝至	監督 草 彌 紀久
主選 柳田 裕平	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一
高橋 長寿	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一
齊藤 義巳	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一
加藤 勇夫	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一
三戸 達也	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一
加賀 貴男	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一
島山 菊夫	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一
武田 和明	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一
千葉 昇	選手 柳田 裕平、小川 一男、三戸 賢一

●町ソフトテニス協会

監督 松田 正紀	選手 一ノ関 一人、村井 満、森川 洋平
選手 伊藤 智貴、北島 裕樹、吉田 堯之	選手 伊藤 智貴、北島 裕樹、吉田 堯之

●八郎潟町役場ソフトテニスクラブ

監督 渡部 郁子	選手 渡部 郁子、一ノ関 一人、加藤 恒貴
選手 佐藤 俊、松田 正紀、伊藤 禎倫、石井 光輝	選手 佐藤 俊、松田 正紀、伊藤 禎倫、石井 光輝

☆奨励賞(個人の部)

武田 望 (ソフトテニス)	渡部 凌 (硬式野球)
小柳 みなみ (ソフトテニス)	齊藤 縁 (剣道)
桜田 涼祐 (ソフトテニス)	吉田 公 (硬式野球)
伊藤 凌 (ソフトテニス)	小玉 昂直 (柔道)
鎌田 瑠夏 (バドミントン)	小野 菜都美 (テニス)
齊藤 香帆 (バドミントン)	石川 優康 (ソフトテニス)
齊藤 志帆子 (バドミントン)	村井 佳紀 (ソフトテニス)
斎藤 陸斗 (レスリング)	土橋 由佳 (ソフトテニス)
工藤 愛梨 (レスリング)	小林 夕華 (ソフトテニス)
小林 新丈 (レスリング)	島山 里紗 (ソフトテニス)
千種 浩也 (柔道)	中道 澄夏 (バドミントン)
鎌田 光成 (ソフトテニス)	齊藤 莉子 (バドミントン)
村井 和紀 (ソフトテニス)	鈴木 優嘉 (バドミントン)
菊地 愛惟 (バドミントン)	山田 大輔 (硬式野球)
志田 裕喜子 (バドミントン)	小玉 竜矢 (レスリング)
濱野 夏実 (バドミントン)	松田 絵美 (バスケットボール)
相馬 綾香 (バドミントン)	北嶋 絵香 (バスケットボール)
村井 拓朗 (バドミントン)	松田 雄太 (ソフトテニス)
甲谷 望 (バドミントン)	千田 浩将 (ソフトテニス)
菊地 真美子 (バドミントン)	落合 郁 (バスケットボール)
工藤 瑞紗 (バドミントン)	落合 郁 (バスケットボール)

使用済コンパネ(下地合板)を払い下げいたします

町では、昨年開催された第62回国民体育大会ウエイトリフティング競技会の施設整備に利用した使用済コンパネ(下地合板)を払い下げいたします。

- 規格及び価格等**
- 規格1・サイズ910mm×1820mm 厚さ12mm
50枚1組 15,000円(300円/1枚)を5組(計250枚)
 - 規格2・サイズ910mm×1820mm 厚さ15mm
50枚1組 40,000円(800円/1枚)を7組(計350枚)
 - 規格3・サイズ910mm×1820mm 厚さ28mm
15枚1組 21,000円(1,400円/1枚)を1組(計15枚)

払い下げの条件

- 購入は、規格ごとに、1個人50枚1組までとします。ただし、規格3については1個人15枚1組までとします。
- 購入者決定後の払い下げ物品の搬出については、購入者で搬出していただきます。
- 払い下げ物品の現物確認日程については、購入希望者に対し、後日お知らせいたします。
- 購入希望者多数の場合は、公開抽選により購入者を決定いたします。

資料請求

購入を希望する場合は、3月10日(月)から同月13日(木)までの間に、オリンピック記念会館内教育委員会国体班へ資料を請求してください。

●問い合わせ先 **オリンピック記念会館内 八郎瀧町教育委員会国体班** ☎ 018-875-5500

臨時職員(学校給食調理員)

募集



- ◎募集人員 1名
- ◎職務内容 学校給食調理員
- ◎応募資格 町内在住者の女性で年齢は問いませんが、満60歳を超えてからの任用の更新はしません。
- ◎任用期間 平成20年4月1日からの任用としますが、1年を超えない期間で更新します。
- ◎勤務場所 八郎瀧町学校給食共同調理場(八郎瀧小学校)
- ◎勤務時間 午前8時30分～午後5時15分(休憩時間45分)
- ◎休日 土・日曜日、祝祭日、年末年始、学校の休業日
- ◎給与 日給 5,600円
- ◎その他 社会保険、雇用保険加入。通勤手当なし。
- ◎応募方法 市販の履歴書に必要事項を記入し、写真を添付のうえ、教育委員会学校教育班へ提出してください。(履歴書はお返ししません。)
- ◎受付期間 平成20年3月3日(月)～14日(金)
- ◎採用方法 書類審査、面接(日程は後日連絡)のうえ決定します。

◎問い合わせ先 **町教育委員会学校教育班** ☎ 875-5812

平成20年4月から国保が変わります

70歳～74歳の方の医療費の自己負担が1割に据え置かれます

制度改正により平成20年4月から、70～74歳の方のうち現役並みの所得がある方以外はお医者さんにかかったときの自己負担が2割に引き上げられることになっていましたが、この見直しが凍結され、平成20年4月～平成21年3月までの1年間お医者さんにかかったときの自己負担が1割に据え置かれます。

義務教育就学前の子どもの自己負担が2割になります

乳幼児の医療費を2割に軽減する対象年齢が「3歳未満」から「義務教育就学前」までに拡大されます。

平成20年3月31日まで

3歳未満児
2割



平成20年4月1日から

義務教育就学前
2割



療養病床入院時の「食費・居住費」負担の対象年齢が65歳以上になります

70歳以上と老人保健制度で医療を受ける人が療養病床に入院するとき、食費と居住費を自己負担しますが、その対象年齢が65歳以上に変わります。

平成20年3月31日まで

70歳以上

平成20年4月1日から

65歳以上



退職者医療制度の対象年齢が65歳未満になります

会社などを退職して国保に加入し、被用者年金(厚生年金など)を受けられる75歳未満の人とその被扶養者は退職者医療制度で医療を受けますが、平成20年4月からその対象年齢が65歳未満に変わります。65歳になりますと一般の国保の加入となります。

平成20年3月31日まで

退職者医療制度の
対象年齢 **75歳未満**

平成20年4月1日から

退職者医療制度の
対象年齢 **65歳未満**

高額医療・高額介護合算制度が創設されます

医療費が高額になった世帯に介護保険の受給者がいる場合、医療保険と介護保険のそれぞれの自己負担限度額を適用後に、両方の年間の自己負担を合算して一定の限度額(年額)を超えた場合は、超えた分が支給される高額医療・高額介護合算制度が創設されます。



平成21年4月から次のように変わります

70歳以上75歳未満の人の自己負担割合が2割になります

平成21年3月31日まで

70歳以上75歳未満
1割

平成21年4月1日から

70歳以上75歳未満
2割

70歳以上75歳未満の人の自己負担限度額が引き上げられます

平成21年3月31日まで

70歳以上75歳未満

外来(個人)	外来+入院(世帯)
12,000円	44,400円

平成21年4月1日から

70歳以上75歳未満

外来(個人)	外来+入院(世帯)
24,600円	62,100円

※75歳以上を対象とした新しい医療制度「後期高齢者医療制度」については次のページに記載されています。

○問い合わせ先 **役場町民福祉課保健医療班** ☎ 875-5813

後期高齢者医療制度のお知らせ

～平成20年3月下旬に後期高齢者医療被保険者証（保険証）が送付されます～

現在、老人医療受給対象者の方（75歳以上、寝たきり等一定の障がいがある方は65歳以上）は、今加入している医療保険（国保、社会保険、共済組合等）から3月31日をもって脱退し、4月から『後期高齢者医療制度』で医療を受けることになります。

なお、加入に関する手続き（申請書の提出等）は必要ありません。



被保険者証（保険証）が変わります

□平成20年3月まで

国保や社会保険、共済組合等に加入しながら『老人保健医療制度』で医療を受けます。

- 一医療機関窓口で掲示するもの一
- ・加入している医療保険の保険証
- ・老人保健医療受給者証など

後期高齢者医療制度

□平成20年4月から

75歳以上（一定の障がいがある方は65歳以上）の方のみの医療制度『後期高齢者医療制度』で医療を受けます。

- 一医療機関窓口で掲示するもの一
- ・新たに発行される後期高齢者医療の保険証など



○新しい保険証は、3月下旬にお手元に届きます。4月1日からは新しい保険証を医療機関窓口持参して受診してください。

○現在持っている保険証、老人保健医療受給者証については、各保険者の指示にしたがって処理してください。

※現在65歳～74歳の老人保健医療受給対象者の方（障がい認定を受けている方）

後期高齢者医療制度に加入し、被保険者となりますが、あらかじめ市町村に対し、障がい認定の申請を撤回する申し出を行った場合には、後期高齢者医療制度の被保険者とならず、引き続き、国保や社会保険等で医療を受けることができます。

また、一度、後期高齢者医療制度の被保険者になっても、申請により取消しを申し出ることもできます。

保険料の徴収が始まります

○3月31日現在で国民健康保険・国保組合に加入されている方

年額18万円以上の年金を受けとっている方は、平成20年4月15日の年金支給日から、介護保険料と同様に年金から天引きされることになります（特別徴収）。

それ以外の方は、納付書や口座振替等により市町村に納めることになります（普通徴収）。

※介護保険料と合わせた保険料額が、年金額の2分の1を超える場合は、普通徴収となります。

特別徴収の対象者の方には、平成20年4月上旬に仮徴収額決定通知書と特別徴収開始通知書が送付されます。

注意 3月31日現在で国民健康保険、国保組合に加入されている方でも平成19年8月1日から平成20年4月1日の間に老人保健対象者となった方は、仮徴収対象外となります。

徴収方法	仮 徴 収			本 徴 収		
	平成20年 4月	平成20年 6月	平成20年 8月	平成20年 10月	平成20年 12月	平成21年 2月
年金 支給月						

普通徴収の対象者の方には、平成20年7月上旬に保険料額決定通知書と納入通知書（納付書等）が送付されます。納期は全部で8期あります。

年 月	平 成 20 年						平 成 21 年	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
納 期	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期

○3月31日現在で社会保険等の加入者本人である方

平成20年7月に、保険料額決定通知書と納入通知書（納付書等）が送付されます。

特別徴収の対象となる方は、1期から3期まで（7月から9月まで）納付書や口座振替等により市町村へ納め、10月からは年金より天引きとなります。

○3月31日現在で社会保険等の扶養者である方

平成20年10月に、保険料額決定通知書と納入通知書（納付書等）が送付されます。

1期から3期まで（7月から9月まで）は保険料の徴収がありません。10月から、特別徴収の方は年金より天引きとなり、普通徴収の方は、納付書や口座振替等によって納めることになります。

■問い合わせ先 役場後期高齢者医療担当課（☎875-5813）
秋田県後期高齢者医療広域連合（☎838-0610）

平成20年度産地づくり交付金 ～転作にご協力を～

八郎潟町地域水田農業推進協議会では、以下の作物を助成対象としております。転作にご協力をお願いします。

- ・生産調整実施者で集荷円滑化対策加入が要件となります。
- ・集荷業者が作成した生産調整方針への加入者が対象です。

産地づくり交付金		48,000円 ～	25,000円	15,000円	15,000円
作物等		大豆 (団地)	枝豆	キャベツ	ホウレン草
要件	面積規模	(既耕地) (1ha以上作付) (増反地) (2ha以上作付)	(10a以上 作付)	(10a以上 作付)	—
	原則	販売・出荷 に至るまで	販売・出荷 に至るまで	販売・出荷 に至るまで	販売・出荷 に至るまで

単価は10a当りの
ものです。

★大豆（団地）技術要件

- ・種子対策
(イ更新、ロ消毒、ハ根粒菌接種)
※(イ・ロ・ハのいずれか2項目)
- ・排水対策
・中耕・培土
- ・雑草対策
・広範囲の一斉防除
- ・凡用コンバインによる収穫
- ・CE利用による高度調整

○今年度の産地づくり交付金の要件の追加について

【過去5年間に於いて生産調整達成者（互助金で精算した農家を含む）であること。】

なお、今まで非協力農家であった者が生産調整実施者になる場合は、過去5年間の未納分の互助金を支払って権利を持つ事にします。



※なお、上記の大豆団地助成の単価は変動単価であって実績等に応じて変動するものとする。(上記48,000円/10aとし、実績に応じて変動する)

※大豆団地助成以外の助成については固定単価とする。

※管理が悪く刈り取り等で支障が出ている圃場に対しては交付金の対象から外れる場合がある。

募集住宅の概要 (羽立・H3建設)

団地名	羽立団地
所在地	字中田地内
募集戸数	1
構造及び間取り	木造平屋(64.2㎡)・台所浴室・洗面所居間(10畳)和室(6畳・6畳)・物置・水洗トイレ
敷金	家賃の3ヵ月分

家賃

収入金額(月額)	家賃
0～123,000円	20,300円
123,001～153,000円	24,600円
153,001～178,000円	29,100円
178,001～200,000円	33,600円

八郎潟町営住宅(空家1戸)の入居者を次のとおり募集します。

★入居者の基準

- ・政令で定める基準の収入(月額200,000円以下)である方。
- ・現に住宅に困窮していることが明らかなる方。
- ・現に同居し、または同居しようとする親族(婚約者を含む)があること。

★入居者の収入基準

収入金額が月額200,000円以下であること

★選考方法と入居予定時期

審査の上、選考決定します。

◎入居決定通知

平成20年3月21日予定

◎入居予定日

平成20年4月1日予定

★添付書類

- ・入居しようとする方の住民票
- ・入居しようとする方の所得証明書と源泉徴収票
- ・入居しようとする方の納税証明書
- ・連帯保証人(町内在住者)

★申込受付期間

3月3日(月)～14日(金)までの土・日、祝祭日を除く午前8時30分～午後5時まで

※添付書類、収入計算等詳細については、産業建設課建設班へお問い合わせください。

◎申込及び問い合わせ先

役場産業建設課建設班

☎875-5809

八郎潟町営住宅

1戸 羽立 入居者募集!

メタボリック症候群 (内蔵脂肪症候群)と 「特定健診」を知ろう!



～特定保健指導って何?～

特定健診については広報八郎潟2月号でお知らせしました。今回は特定保健指導について紹介します。健診を受けた後、皆さんは健診の結果を生かしていますか。

この特定保健指導では特定健診の結果、生活習慣病のリスクの数や年齢などから「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」の3つのグループに分けられ、結果が通知されます。「動機づけ支援」「積極的支援」の方は生活改善の実践と検査値改善を目指して保健師や栄養士、医師などから保健指導を受けます。「情報提供」は受診した人全員に行われます。

一つ一つは軽症でもそのリスクが重なると将来大きな病気につながる可能性が高くなります。早期にリスクを発見するためにも年に1回は健診を受け、生活習慣を見直しましょう。

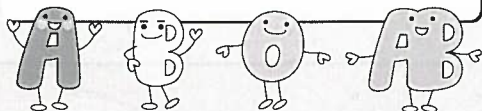
20年度の町の早朝総合健診は6月を予定しております。健診の日程等詳細については後日お知らせします。

献血車(全血)が来町します 皆様のご協力を!!

輸血用血液が全国的に不足しています。皆さんからいただいた血液は輸血を中心とした医療を支えています。次の日程で献血車が来町します。皆様のご協力よろしくお願いします。

●3月26日(水) 200・400ml献血

9:30～11:00 八郎潟町役場
13:25～14:40 うたせ苑
14:55～16:00 湖東総合病院



国民健康保険者医療費と町の医療費状況

国保医療費(平成19年12月分) (単位:円)

1人当たり医療費	一般分	退職分	老人分	全体(平均)
八郎潟町	27,081	39,416	77,961	43,286
医療圏内 (秋田・男鹿・潟上・南秋)	23,262	36,364	73,960	39,830
秋田県	21,648	32,883	64,787	35,775

事業名	月日・曜日	受付時間	対象者
乳児健診	4月22日(火)	午後1時～1時30分	平成19年5月生 平成19年8月生 平成19年12月生
	6月3日(火)		平成19年6月生 平成19年7月生 平成19年9月生 平成19年10月生 平成20年1月生 平成20年2月生
	7月22日(火)		平成19年8月生 平成19年11月生 平成20年3月生
	8月26日(火)		平成19年9月生 平成19年12月生 平成20年4月生
	9月30日(火)		平成19年10月生 平成20年1月生 平成20年5月生
BCG接種	4月22日(火)	午後0時30分～1時15分	平成19年12月生
	6月3日(火)		平成20年1月生・2月生
	7月22日(火)		平成20年3月生
	8月26日(火)		平成20年4月生
	9月30日(火)		平成20年5月生
1歳6カ月児健診	4月21日(月)	午後1時～1時30分	平成18年7～9月生
	7月1日(火)		平成18年10～12月生
2歳児歯科健診	6月13日(金)	午後1時～1時30分	平成17年7～12月生
	5月13日(火)		平成16年10～12月生
3歳児健診	8月5日(火)	午後1時～1時30分	平成17年1～3月生
	4月14日(月)		午後1時30分～2時
6月16日(月)			
母子手帳発行日	4月11日(金)	午前8時40分～11時30分	母子手帳の必要な妊婦
	5月8日(木)		
	6月6日(金)		
	7月10日(木)		
	8月5日(火)		
	9月4日(木)		

※場所は、すべて保健センターです。



平成20年度上半期(4月～9月) 乳幼児健診・予防接種・母子手帳発行日程



3月の保健衛生事業

日・曜日	事業名	対象者	場所	時間
7日(金)	妊婦相談 母子手帳発行	母子手帳の必要な妊婦	保健センター	午前8時30分～11時30分
13日(木) 27日(木)	筋筋くらぶ	おおむね65歳以上の高齢者	保健センター	午後1時30分～3時30分
25日(火)	乳児健康診査	平成19年4月生 平成19年7月生 平成19年11月生	保健センター	午後1時～1時30分受付
25日(火)	B C G 接種	平成19年11月生	保健センター	午後0時30分～1時15分受付
28日(金)	食生活改善推進員研修会	食生活改善推進員	保健センター	午前10時～



交通災害共済・不慮の災害共済の加入について ～平成20年度の小学校新入学児童交通災害掛金無料に～



この共済制度は、県内の住民が助け合い、事故や災害にあった方を救済する制度です。

交通災害は1日の通院・入院から、不慮の災害は1日の入院から保険料を請求することができます。

加入申込書は各世帯へ郵送します。

平成20年度から、県内の秋田銀行及び北都銀行のすべての店舗（派出窓口を除く）で加入申込みができるようになりました。

（7月31日まで）

申込みされる方は、加入申込書に必要事項を明記のうえ、人数分の掛金を添えて、秋田銀行、北都銀行、または役場町民福祉課町民生活班の窓口へ提出してください。

◎加入資格者

八郎潟町に住んでおり住民基本台帳に登録されている方
（4月1日を基準）

◎掛金（1人年額）

・交通災害共済 400円 ・不慮の災害共済 600円

◎新入学児童について

平成20年度の小学1年生は、1年間に限り交通災害共済掛金が無料です。（不慮の災害共済は除く）自動加入です。手続きは必要ありません。

◎共済期間

平成20年4月1日～平成21年3月31日（4月1日以降に加入した方は、その翌日から平成21年3月31日まで）

◎申込受付 3月3日（月）～（土・日・祝祭日を除く）

■問い合わせ・申込先

役場町民福祉課町民生活班 ☎875-5806

国民年金 ハッピーちゃんコーナー

◎クレジットカード支払いは、事前に申込用紙をご提出いただき、以後、将来の保険料を定期的にクレジットカード会社が立替払いし、クレジットカード会社からカード会員の方に請求する方法です。

【お申し込みの受付】

平成20年2月1日から開始しています。対象は平成20年3月分保険料からとなります。

【お支払い方法】

毎月納付・1年前納・半年前納の3種類で、いずれも現金納付の場合と同じ保険料額です。

【対象となる保険料】

「定額保険料」及び「付加保険料込みの定額保険料」となります。保険料の一部を免除されている場合はご利用いただけません。

国民年金保険料がクレジットカードで お支払いいただけるようになりました

【お申し込み方法】

申込用紙「国民年金保険料クレジットカード納付（変更）申込書」に必要事項をご記入のうえ、お近くの社会保険事務所へご提出ください。申込用紙は、お近くの社会保険事務所に備え付けてあります。郵送もいたしますので、お電話等でご連絡ください。また社会保険庁ホームページからもダウンロードできます。

《ご注意》

- ※金融機関や社会保険事務所の窓口でクレジットカードを直接ご提示・お支払いいただく方法ではありません。
- ※過去の未払い分についてはご利用いただけませんのでご了承ください。
- ※カード会社へのお支払い回数は1回払いのみとなります。分割払いやリボ払い等のご利用いただけません。
- ※ご利用いただけるクレジットカードなどについては社会保険庁ホームページをご覧ください。

◎問い合わせ先 秋田社会保険事務局年金課

☎883-1670 HP <http://www.sia.go.jp/>（社会保険庁）

資源ごみ還元事業

平成20年2月分の資源ごみは次のとおりです。

	段ボール	新聞	雑誌	缶類	ペットボトル	積立金
2月分	4,920kg	17,180kg	8,730kg	—	—	245,806円
累計	7,300kg	23,380kg	12,550kg	1,860kg	980kg	349,378円

※缶類・ペットボトルについては、平成20年2月から八郎湖周辺清掃事務組合の処理施設へ搬入となるため、資源ごみ還元事業から除外されますのでご了承ください。

- ・雪捨ての夫に 応援声ばかり 志津江
- ・孤を描いて亡夫の 使いか流れ星 梅香
- ・念佛でとなりの破調 おかしかり 無一
- ・スーパード宝探し かく 迂人
- ・好きだとも言えず 移り香そつと嗅ぐ 大観
- ・年の瀬を告げる 鐘にも遠い耳 秋遊
- ・支え合い共に米寿の 初詣 草風
- ・美しい花の匂に 安らげり 寒月

川柳

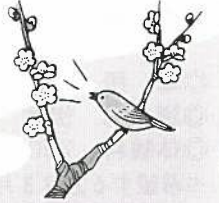
文芸
紹介

随想録 30

「会うは別れの始め」



町長 土橋多喜夫



毎年三月・四月の時期は、学校・職場・友人等、出会い・別れの機会が誰にも経験されることです。

「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」

この詩の意味は、毎年咲く花は変化なく同じであります、人は毎年異なり、決して同じではないということです。

思えば人生には様々な出会いがあります。どんな人とどんな出会いをするのか、そこに人生の面白さがあるといつてよいのではないのでしょうか。中にはたつた一回の出会いで終わってしまったこともあれば、そのときからその後の長い付き合いが始まることもあります。

特に、第六十二回秋田わか杉国体の大行事の際での出会いはよき思い出となり、永く続くことでしょう。しかし、長く続いた交わりも、やがて別れのときがやってくるのです。

別れもまた様々であります。なかには淡々とした別れもあれば、後々まで思いの残るような別れもあります。

人はこういう出会いと別れを経験しながら老いていくのです。それが宿命であると申しても過言ではありません。

さて、人は誰でも死を迎えます。心をこめてお育てくださった親、子の親となつて初めて知る親の恩。しかしその親との別れがいつか訪れるのです。親より先に死を迎える、いわゆる逆縁は望むところではありません。

また、最愛の妻との別れ、愛する我が子との別れ（逆縁）等々、人の死亡率は一〇〇%、いつかは死を迎えることになるのです。

有意義な生涯を送るためにも人とのつながりを大切にしていきたいものです。

(絵 安田敏雄)

駐在所だより



八郎湯駐在所 875-2045
真坂駐在所 875-2550

ワカサギ釣りの皆さんへ

氷の上は危険です！

自然の中では、小さな判断の誤りが大きな危険につながる可能性があります。

「自分だけは大丈夫」という思いこみが一番危険です。

① 事前に氷の状態や天候を確認しましょう

気温の高いときは、足下が厚い氷でも周囲から簡単に割れてしまうことがあります。水に落ちて溺れたり、低体温症にならないために、氷上に出る時は、事前に気象情報や氷の状態をよく確かめ、危険な時に出るのはやめましょう。

② 救命胴衣（ライフジャケット）を身につけましょう
万一の時に備え、ライフジャケットを着用し、救命浮き輪、竹ざお、はしご、ロープ等を用意しておきましょう。

また、携帯電話は防水パックに入れて持ち歩き、事故が起きたらすぐ110番通報！

③ 単独行動は避けましょう
単独行動は万一の事故の際、誰も気が付かない危険性がある

④ 氷に大きな穴を開けるのはやめましょう
穴の大きさは15cm以下にしましょう。

⑤ 路上駐車は気をつけましょう
道路へ車をとめる際は、他の人の迷惑にならないように駐車しましょう。

⑥ 誰かが氷に開けた穴に雪が積もり、後から来た人がその穴に気が付かず落ちてしまうことがあります。

⑦ 大きな穴を開けるのは絶対やめ、開けた穴には目印をつけておきましょう。

⑧ 車上ねらいにあわないよう、ドアロックを忘れずに！

平成20年 飲酒運転追放等の競争 実施中

八郎湯町の順位 (1月末)
全 県 (25市町村中) 1位
男鹿・湯上・南秋 (6市町村中) 1位

区 分	酒 酔 い	酒 気 帯 び	事故件数		計	前年 同期 順位	順 位
			負傷	死亡			
1月中	0	0	0	0			
1月までの累計	0	0	0	0	0	25	1

※飲酒運転による違反(酒酔い・酒気帯び)は1件1点
飲酒運転による事故の負傷は1件3点、死亡は8点。
その他死亡事故は1件3点で換算しています。

情報プラザ

子育て支援センター “はっぴい”からのお知らせ

☆げんきっこ広場3月の開催日
5日(水)、7日(金)、12日(水)、14日(金)
※5日にはひなまつり会、14日には3月
生まれのお友だちの誕生会をします。

☆赤ちゃん広場

ベビーマッサージの体験ができます。

- ◎対象 生後6ヵ月までの赤ちゃん
- ◎日時 3月19日(水)
午前10時～12時
- ◎場所 八郎潟保育園“はっぴい”
- ◎講師 伊藤 純氏(秋田市在住)
- ◎体験料 700円

※希望する方は3月14日(金)までに
八郎潟保育園までお知らせください。

■問い合わせ先

八郎潟保育園
☎875-5172

心配ごと相談所の開設

誰でも気軽に安心して相談できます。
秘密は厳守しますので、お気軽
にご相談ください。

◎相談日時 3月14日(金)
午後2時～5時

◎場所
ハッピーいきいきサロンまめだが～

■予約及び問い合わせ先

町社会福祉協議会
☎875-3871

願人踊・秋田音頭の 講習会のお知らせ

一日市郷土芸術研究会では、5月
5日の一日市神社の祭典で奉納する
願人踊と秋田音頭の講習会を実施し
ます。

参加ご希望の方は、次の日時に町
農村環境改善センターまでお気軽に
おいでください。

◎講習日時

3月1日～5月3日
毎週金・土・日曜日
午後7時～8時

◎場所

町農村環境改善センター

◎対象

- 願人踊
小学校3・4・5年生の男女
- 秋田音頭
小学校2・3・4・5年生の男女
(※3月現在の学年です)

■問い合わせ先

一日市郷土芸術研究会
会長 畠山美喜雄
☎875-2341

入園・入学式のお知らせ

- ◇八郎潟小学校
4月7日(月) 午前10時～
- ◇八郎潟中学校
4月7日(月) 午後2時～
- ◇八郎潟幼稚園
4月8日(火) 午前10時～

火災による犠牲者が多発しています

県内では、昨年から今年にかけて、住宅火災による犠牲者が、例年に比べて多くなっています。特に今年は、2月8日現在、建物火災が37件発生し、犠牲者が10名となり、憂慮すべき事態となっています。

◎ストーブの取り扱いには十分注意してください。

- ・ストーブの周囲には、洗濯物等を干さない
- ・火を付けたまま給油しない



また、逃げ遅れによる犠牲者を防ぐため、早期に住宅用火災警報器を設置しましょう。

なお、住宅用火災警報器の設置に伴う説明会には、土・日・祭日を問わずお伺いしますので、各種団体の皆様はご活用ください。

◎問い合わせ先 湖東地区消防本部 ☎874-2420

秋田県精神保健福祉 センターが移転します

秋田県精神保健福祉センターは、
4月から秋田市中通に移転し、秋田
県福祉相談センターと併設されま
す。

移転後も“こころの健康”などに
関する専門機関として、全県を対象
に電話・面接相談等の業務を行いま
すので、是非ご利用ください。

◎移転先

〒010-0001
秋田市中通二丁目1番51号
明德館ビル1階
☎831-3946

役場直通電話番号・メールアドレス

役場代表 ☎875-5800

◆総務課

- 総務班 ☎875-5801
soumu@town.hachirogata.lg.jp
- 企画財政班 ☎875-5802
kikakuzaisei@town.hachirogata.lg.jp
- 税務班 ☎875-5807
zeimu@town.hachirogata.lg.jp
- 会計班 ☎875-5804
kaikai@town.hachirogata.lg.jp

◆町民福祉課

- 町民生活班
(窓口サービス担当) ☎875-5805
- (消防・交通・環境担当) ☎875-5806
tyoumin@town.hachirogata.lg.jp
- 福祉介護班 ☎875-5808
fukushikaigo@town.hachirogata.lg.jp
- 保健医療班 ☎875-5813
hokeniryoushi@town.hachirogata.lg.jp

◆産業建設課

- 産業振興班 ☎875-5803
sangyou@town.hachirogata.lg.jp
- 建設班 ☎875-5809
kensetsu@town.hachirogata.lg.jp
- 下水道班 ☎875-5811
jyougesui@town.hachirogata.lg.jp

◆水道課

- 上水道班 ☎875-5811
jyougesui@town.hachirogata.lg.jp

◆教育課

- 学校教育班 ☎875-5812
kyouiku@town.hachirogata.lg.jp
- 生涯学習班(公民館) ☎875-5777
kouminkan@town.hachirogata.lg.jp
- 国体班(オリンピック) ☎875-5500
kokutai@town.hachirogata.lg.jp

◆幼稚園

- ☎875-2734
youchien@town.hachirogata.lg.jp

◆議会事務局

- ☎875-5810
gikai@town.hachirogata.lg.jp

戸籍だより

(1月届出分)

◎健やかに

12・31 永沼 凜(りん) 女
(賢治・裕子) 宮城県
1・22 佐藤 海羽(みう) 女
(直俊・正子) 14区

◎ご冥福をお祈りします

1・6 安田美和子(55歳) 4区
1・7 田中 清(69歳) 14区
1・11 齊藤 勇(83歳) 25区
1・15 齋藤 サメ(96歳) 浦大町
1・23 村井 カネ(92歳) 16区
1・24 伊藤サツ子(70歳) 28区
1・29 三戸 洋子(59歳) 32区

町のミニ統計(1月末現在)

◇人口

当月 先月比 昨年比
男 3,264人 (-5人)(-52人)
女 3,735人 (+3人)(-77人)
計 6,999人 (-2人)(-129人)

◇世帯数

2,475戸 (0戸)(-8戸)

※住民基本台帳

◇出生 2人(2人)[6人]

◇結婚 0組(0組)[1組]

◇死亡 7人(7人)[9人]

※()は1月からの累計、
[]は昨年同時期の累計

◇交通事故件数

物損事故 11件(11件)[7件]

人身事故 1件(1件)[3件]

※()は1月からの累計、
[]は昨年同時期の累計

お知らせ

**第51回町民体育祭
6月1日(日)開催!!**

なお今後は、偶数年度の開催(隔年)を予定しております。

平成20年度 八郎瀧町奨学生募集

町では有用な人材を育成することを目的に、無利息で奨学金を貸与する八郎瀧町奨学基金貸与制度があります。

このたび、平成20年度の奨学生を次のとおり募集します。

◎応募資格

町内出身者で、平成20年4月に高校、国・公・私立大学、短大、専門学校に1年生として入学する方

◎貸与月額

・高等学校 12,000円
・大学、短大、専門学校 20,000円

◎応募期限 4月18日(金)

◎返還方法

奨学金の返還は、卒業後から貸与月額の半額ずつの返還となります。
※ご家庭内以外で町内在住の連帯保証人が必要です。

■問い合わせ先

教育課学校教育班
☎875-5812

し尿汲み取り料金 引き上げ改定のお知らせ

八郎瀧町・井川町衛生処理施設組合の施設使用料(し尿の搬入量)が下水道の普及に伴い年々減少しており、両町で負担している施設維持管理費も年々増加しております。これらのことから、受益者の皆様から負担していただく汲み取り料金を4月1日から次のとおり引き上げとなりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

1リットルあたりの汲み取り料金

○改定前料金 7円



○改定後料金 10円

汲み取り業者

・八郎瀧衛生社 ☎875-3227
・鎌田興業 ☎875-2039

3月行事予定表・秋田朝日放送CM放送日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 CM放送 午後1:05頃	4 議会3月定例会 (~14日) CM放送 午後1:05頃	5	6	7 中学校卒業式	8
9	10	11	12	13 CM放送 午後1:05頃	14 幼稚園卒園式 CM放送 午後2:25頃	15 CM放送 午後7:30 ~7:54頃
16	17	18 小学校卒業式 CM放送 午後2:55頃	19	20	21	22
23	24	25	26 CM放送 午後4:30頃	27 CM放送 午後2:00頃	28 CM放送 午後3:00頃	29
30 CM放送 午前6:00頃	31					

八郎瀧町善意銀行
八郎瀧町社会福祉協議会

2・13 秋田市 島山 賢 様
祖母100歳のお礼の一部
金 30,000円

1・30 16区 村井久之丞 様
香典返し(亡母 カネさん)
金 50,000円

1・30 浦大町 齊藤加代子 様
香典返し(亡母 サメさん)
金 30,000円

1・21 14区 田中ケイ子 様
香典返し(亡夫 清さん)
金 20,000円

◆預託状況
(平成20年2月19日現在)

◆善意◆

ふるさと散歩

No.242

湖畔の戦国時代

風雲の浦城 ⑧

三浦氏と湊合戦 ④

三浦一族檜山城・霧山・桐山・切山を攻める
角館戸澤氏口伝に、三浦氏及びその関係軍
団を、「湖東の軍団」と明記して、戦国秋田
の武将に列伝している。

檜山城攻撃の総大将に浦城の三浦氏が適任
視された理由の一つに「切山城をよく知って
いるから。」このことについて三浦氏が檜山
といかに縁が深いかは、後日書くことにします。

○檜山切山までの経路

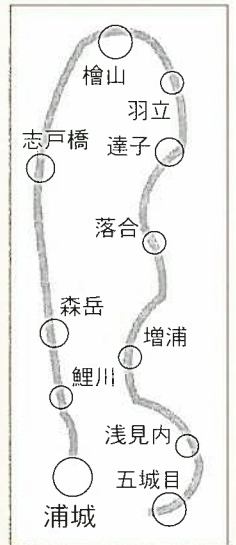
参戦の軍兵数には大きい違いがある。(秋
田軍記総勢約五百、千田軍記二千) おおよそ
二つ経路が考えられる。一つは山間を縫うよ
うに続く道で、五城目から内川浅見内へ、大
場・上岩川の増浦から落合・下岩川に入って
長面から達子・山越えをして檜山川に沿って
檜山切山城の背後に至る道。もう一つは浦城
から、城陰山本郡の市野から湖岸の鯉川・鹿
渡を通り、森岳・豊岡・金光寺・志戸橋を通
って山を下り檜山に至る。俗に言う檜山街道
で小半日のルートである。檜山攻めのルート
はさだかではない。千田軍記には「急げば程
なく檜山の城に着きにけり。」とある。

○戦い前の口上

三浦兵庫守は攻め手の大将であるので檜山
城の追手門(正面の門)。五十目
愛女は搦手(裏門)。馬場目玄蕃
は揉み合い(場所不明)。三方から
合図を決めて、太鼓を打ち鳴らし、関の声(合



揉み合い
馬場目
五十目
搦手より
檜山城
追手門より
浦 三浦



戦の初めに全軍で発する叫び声、味方の士気を鼓舞すると共に、敵に向かつて戦いの開始を告げる合図)をどつと上げる手はずである。

檜山城主安藤愛季は脇本城にて、檜山城留守役の城代大高相模守康澄(後の能代市富根出身の四十七士大高源五の祖です。末裔は高岳山の祭典に拝礼の二ツ井飛根字富根の高岳さん。高岳講中の代表として必ず出席します。何かの縁かな。)は大いに驚いて、矢倉に駆けあがり門外を凝らして見れば、甲の星を輝かせて軍勢が雲霞のごとく(雲かすみと群がって見える)押し寄せてきた。これは大変だと中に入



をもち」と高声で叫び歩き、城内は大騒ぎとなった。そこへ攻め手の大将兵庫守、鳥黒(真黒の毛の馬。信長公記・源平盛衰記にも鳥黒が名馬として記載)という名馬に乗り登るふんばり、つつ立ち上がり城に向かつて大音上げて申す。「ここへ攻めてきたのは三浦兵庫守盛永なり大高康澄よく聞き給え、この度九郎殿(愛吉)より討手の大将を承り、罷り越した。脇本城の愛季が湊城に居座り、九郎殿に政権を渡さないことに納得がいかない。すぐこの城を明け渡せ。」檜山方の城代大高相模守康澄「明け渡すことは出来ない。す

ぐに帰って愛吉に伝えよ。」戦いの前の儀式のようなものであろうか。今でも角館に山車ぶつけ・花輪ばやしの山車ぶつけの前に儀式が延々と続き・太鼓を鳴らし、激しく山ぶつけの軍が始まる。それもその名残かも知れない。「納得がいかない。」ということになり戦闘が開始される。

○合戦の開始

討手の者ども「城を渡さないと云っている。ならば出物見せてやる。」と弓・鉄砲を撃ちかける。大高は「討ち取れ」と号令を発する。三浦軍は手はず通り、追手門・搦めて・揉み合い三方から攻めかかる。

両陣互いに矢叫びの声、天地も崩れるばかりである。討手の方は、敵に勢いが着かなうちに攻撃し、城内に突入しようとするが、城内や、矢倉から飛ん

でくる弓矢・鉄砲に阻まれて難航している。

(千田軍記・秋田軍記・戸澤口伝より)
文・浦大町北嶋 雄一



太鼓



鐘

ふれあい

▼今年、例年以上に雪が降り、まだ寒い日が続いておられます。お体にはお気を付けてください。
▼今回あきたふるさと手作りCM大賞では本町のCMが最優秀賞を受賞し、2月7日に仙台市で開催された東北ふるさとCMフェスティバルへ本町から制作関係者19人が応援に駆け付けました。参加した皆さんは会場の仙台国際ホテルのすばらしさに驚いておりました。スティージに上がった小野賢治君と私は、願人籍の衣装で参加させていただき、その他の方は半纏と応援グッズで会場を盛り上げました。

▼このたびは皆さんのおかけで貴重な体験をさせていただきました。今後ともご協力よろしくお願いたします。

東北各県から制作に携わったたくさんの方が集まりましたが八郎瀨町の応援が一番ではなかったかなと思います。
2月23日には、東北フェスティバルの模様を東北北一門に放送されましたが、放送の中でも八郎瀨町の応援のパワーが一番だったと思います。改めて町民の皆さんのパワーのすばらしさを感じさせていただきました。

*広報八郎瀨 No.573 *発行/八郎瀨町役場・編集/総務課 〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎瀨町字大道80 *☎018-875-5800 ☎875-3096 *印刷/八郎瀨印刷